## 東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 5月 1日(火)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 5月 1日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 Ⅱ: 該当なし

区分 皿: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1		濃縮廃液系パイプヒータ(配管保温用ヒータ)回路No.11漏電しゃ断器において、「自動切」位置となり、絶縁抵抗測定値「OMΩ」であることが認められたため、当該原因調査・対策検討。	GⅢ	
2	その他	緊急・災害対策資機材用小型可搬式LED照明器具(No. 11)において、故障(充電不能及び不点灯)が認められたため、当該照明器具を点検・修理。	対象外	